



丸子 まちづくりだより

平成29年 / 2017. 10. 16 発行
 発行 ● 丸子まちづくり会議 TEL・FAX 75-1061
 〒386-0492 上田市上丸子1612(自治センター北庁舎)
 E-mail info@maruko-mkueda.jp
 印刷 ● (有)大和印刷



第4号

平成29年度丸子まちづくり会議臨時総会



9月28日

平成29年度 臨時総会

丸子文化会館小ホールにおいて、今後の活動指針となる「丸子まちづくり計画」を議題として臨時総会を開催しました。代議員63人のうち56人の出席(委任状22人含む)をいただき、原案のとおり決定されました。計画の基本理念、事業計画を2、3ページに掲載しましたのでごらんください。



6月15日

塩川地区会議 設立総会

塩川コミュニティセンターで開催し、役員選出、事業計画、予算を議題としそれぞれ原案のとおり決定されました。

会長には、坂井自治会の鷹野忠司さん、副会長に南方自治会の北沢博光さん、石井自治会から柳沢久美子さんを選出しました。

地区会議の活動をお知らせします。
4ページをご覧ください。



7月28日

塩川地区会議 設立記念イベント

8月14日

長瀬地区会議 第2回 消防夏まつり

「丸子まちづくり計画」の策定にあたって

私達、丸子まちづくり会議は、「丸子まちづくり計画(案)」を策定するにあたり、“まちづくりをみんなの手で”という合言葉の下に、住民皆さんのニーズを把握するため、「まちづくり計画」のアンケートを実施しました。

その結果、多岐にわたる沢山のご意見をいただき、これらの検討結果を分野別にまとめ、「丸子まちづくり計画」の原案とし、5地域において住民や自治会役員を対象にタウンミーティングを実施し、ここで頂いたご意見を精査検討し最終案としてまとめ、臨時総会に諮り原案のとおり決定いただきました。

これで、今後の活動指針、方向性が確立されましたので、丸子地域の魅力を生かし、各地域の特色を生かした「個性あるまちづくり」を進め、誰もが丸子里に住んで良かったと思えるような「まちづくり」を、上田市、自治会、各種団体と協働し、住民参加によって創っていきましょう。

以下は「丸子まちづくり計画」からの抜粋です。長い文章は要約してあります。

第3章

まちづくりの基本理念とテーマ

第1節 まちづくりの基本理念

「あなたが主役 参加と協働でつくる 安心と心豊かなまち」

全国的な人口減少、少子高齢化が進む中、地域コミュニティの機能が失われることが懸念されます。

地域住民ひとり一人が主役として地域課題に取り組み、ふれあいと思いを深め、相互に助け合えるまちづくりを大切に、行政と協働し、より安心で住みやすい心豊かな自立した地域を目指します。

第2節 まちづくりのテーマ

～ 自然豊かな 住み続けたい まちを目指して～

丸子地域のすばらしい自然を守り、長い歴史の中で培われてきた文化や産業を継承し、豊かな自然の中で、のびのび子育てができ、雇用がより充実し、安全が保たれ「丸子里に住んでよかった」と思えるまちを目指して課題解決の推進を図っていきます。



第4章

まちづくりの基本方針

第1節 地域の現状と課題

- 1 地域コミュニティの共助により各種災害に対応できるよう、地域防災力の向上が重要となっています。
- 2 高齢化社会に対応した利便性の確保も強く求められます。
- 3 丸子地域ならではの観光や特産品の更なるPRによる賑わいや地域の魅力の創出、働く場の確保や移住、定住等の促進に取り組んでいくことが重要となります。
- 4 次世代に向けた、住みやすく子育てしやすい環境が求められています。更に進学、就職などで一度は県外に転出しても、ふるさと丸子里に戻ってこられるよう、働く場の確保や若者が住みやすい環境整備も大切です。

第2節 基本方針

上記に掲げた現状と課題から見える様々な問題や課題を解決し、基本理念の実現に向け、以下に示す4つのまちづくりの基本方針のもとに、地域住民、諸団体、行政と協働で取り組んでいきます。

方針 ア 地域力を高める 協働のまちづくり

方針 イ 誰もが安全で 安心して暮らせる まち

方針 ウ 伝統文化が生き生き 賑わいのある まち

方針 エ 地域を愛する 心豊かな子どもを育む まち



事業区分	事業主体	方針区分	事業名	事業内容	具体的な内容	実施時期
自主事業	まちづくり会議	ア	まちづくりの推進	学習会、研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会、研修会への参加呼びかけ ・出前講座 ・まちづくり会議のPR 	短期
		イ	地域交通の諸施策検討	高齢者等交通弱者の移動手段の検討(交通部会の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通政策を全般に話し合う組織の設立(市、商工会、工業振興会、高齢者クラブ、丸子修学館、公募等で構成) ・意見、提言など行政、議会、交通機関等に働きかけ 	短期
		エ	教育と地域連携	学校と連携し青少年育成を推進(教育部会の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年ネットワーク会議とその支援団体との連携 ・信州型コミュニティスクールに参加 	短期
		イ	地域福祉施策の検討	子育て支援や社会福祉協議会と連携し地域福祉の充実(福祉部会の設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい、ファミリーサポート、在宅福祉サービス事業などと協働 ・見守り(声掛け)訪問、子育て広場との協働 	短期
行政と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市 ・まちづくり会議 ・(自治会) 	ア・イ	地域交通の改善	公共交通利用促進や新たな交通手段を検討	<ul style="list-style-type: none"> ・行政や関係団体、交通部会との協議会を設置 	短期
		イ・ウ	空き家・移住定住対策	上田市空家等対策計画への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ内の連携の強化、意見集約への協力。 ・空家等の適正管理、利活用の促進と協力。 	中期
自治会と協働	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会 ・まちづくり会議 	ア	地区会議設立支援	地区会議設立を支援しまちづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・5地区の自治会連合会に地区会議を設立(長瀬地区会議、塩川地区会議は設立済み) 	短期
		ア・イ	要望体制確立	地元事業の推進や地域課題の要望体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会と連携し関係機関に要望 	中期
各団体や学校と連携	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年ネットワーク会議 ・信州型コミュニティスクール ・まちづくり会議 ・社会福祉協議会 ・まちづくり会議 	ア・エ	教育環境の整備	学校や地域と連携し、青少年ネットワーク会議とその支援団体との協働、信州型コミュニティスクールに参加	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年ネットワーク会議の支援団体と協働、信州型コミュニティスクールに参加 	短期
		ア・イ	地域福祉の推進	社会福祉協議会と連携し地域福祉を推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と福祉部会との連携 	短期

(注) 短期は1年～3年、中期は4年～7年、長期は8年以上を目安にしています。

地区会議の活動を紹介します

7月28日 塩川地区会議設立記念イベント

塩川小学校体育館にて、神奈川県桐蔭学園高校男子和太鼓部をゲストに招き、迫力のある演奏、夏合宿の成果を披露していただきました。

塩川保育園園児の太鼓演奏、塩川小金管バンドの演奏でも大いに盛り上がり塩川の子ども達も活躍してくれました。

高校生と参加者による太鼓演奏体験も行いました。



桐蔭学園による力強い和太鼓演奏

8月14日 長瀬地区会議 第2回 消防夏まつり



アルクマ君、
ゆきまる君も
来たよ!

上田市消防団丸子第5分団の主催により、長瀬市民センターで、けむり体験、放水体験、消防車乗車体験、水消火器体験、非常食の無料配布などを実施し、220人を超える皆さんに参加していただきました。

また県の地震体験車では、地震の揺れを体感できました。



まちづくり会議の ホームページをご覧ください

「まちづくりだより」ではお伝えしきれなかった細かい内容や、リアルタイムな情報を提供しています。



ご意見・ご要望など どしどしお寄せください

【メールアドレス】

info@maruko-mkueda.jp

編集後記

地区会議は2番目として塩川地区会議が立ち上がり、丸子中央自治連でも準備が進んでいます。また、臨時総会で「丸子まちづくり計画」が決定しましたので、その計画に沿って運営してまいります。